

## 東アジア相互理解の架け橋として

日本華人教授会議代表、NPO 中日学術交流センター代表理事  
朱建榮

私たち日本華人教授会議が主催する年次国際シンポジウムは今回が 3 回目であります。1 回目は 2004 年 5 月に開かれ、「日中共同知の構築にむけて」というテーマで、日本の経済界から、奥田経団連会長(当時)、成田電通会長(当時)など経済界の方々、また、武大偉大使(当時)、日本に留学して中国に戻った帰国者代表・中国発展改革委員会の第十一次五ヵ年計画策定担当者・楊偉民局長らをお招きして、日中協力の哲学、文化、経済など各方面にわたって幅広く討論をいたしました。

2 回目は、昨年 5 月、討論の範囲を東アジア全体に広げて、「東アジア共同体の形成に向けて」と題して、韓国から元外務大臣・駐日大使の孔魯明先生、日本からは元国連大使・OECD 次長の谷口誠先生にお越しいただき、王毅大使も一緒に加わりまして、東アジア共同体の形成における問題点や方向性などについて熱烈かつ建設的な討論を行うことができました。

私たち日本華人教授会議は 2003 年 1 月に設立されました。内部での知的交流を通して在日中国人社会の知的凝集・蓄積を目指すとともに、母国中国と第二の故郷日本そして東アジアとの架け橋になるよう努め、世界各地とりわけ東アジア・北東アジア地域の相互理解、文化学術交流の促進を図ることを趣旨として一堂に集まりました。

今日のような国際シンポジウム以外に、日本政府、政党、経済界との勉強会や社会向けの講

座などを催し、更に全中国日本語スピーチコンテストの共催などの社会貢献活動をしてまいりました。

このような活動を展開できたのも、ひとえに日本の各界を



始め、中国、韓国など各国、地域の友人のみならずのご理解とご支援の賜物によるものであります。深くお礼を申し上げます。

今回、第 3 回目のシンポジウムは「東アジアの調和社会の構築」というテーマで、東アジア地域全体が抱える共通の問題について、それぞれの国の政策担当者が各自の戦略方針と政策を語りあい、また私たち学者を交えて一緒に討論することです。この地域は確かにさまざまな矛盾や摩擦を抱えていますが、長期的な視野に立って、この地域全体が調和社会に向かうための課題に共同で取り組んでいこう、というのがわれわれの意図するところであり、それで今回のシンポジウムを開催する運びとなった次第であります。

ぜひ、発表者、パネリスト、コメンテーターおよび来場の皆様の共同の努力の下で、今日のシンポジウムが、東アジア各国の共通課題の取り組み、協調分野の拡大に向けて、実りある討論と交流の場になることを願って、簡単ながら開会の挨拶とさせていただきます。